



2020年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年10月11日

上場会社名 株式会社東天紅 上場取引所 東
 コード番号 8181 URL https://www.totenko.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小泉 和久
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)佐藤 昇 (TEL)03(3828)6272
 四半期報告書提出予定日 2019年10月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第2四半期の業績(2019年3月1日~2019年8月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	3,267	△1.7	△101	—	△102	—	△110	—
2019年2月期第2四半期	3,322	4.7	△84	—	△80	—	△88	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第2四半期	△42.91	—
2019年2月期第2四半期	△34.35	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第2四半期	13,010	10,139	77.9
2019年2月期	12,606	10,283	81.6

(参考) 自己資本 2020年2月期第2四半期 10,139百万円 2019年2月期 10,283百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年2月期	—	0.00	—	—	—
2020年2月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の業績予想(2019年3月1日~2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,100	2.1	100	483.9	100	247.7	50	77.4	19.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期2Q	2,572,871株	2019年2月期	2,572,871株
② 期末自己株式数	2020年2月期2Q	4,414株	2019年2月期	4,387株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年2月期2Q	2,568,478株	2019年2月期2Q	2,568,606株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用、所得環境の改善を背景に、緩やかな回復傾向で推移いたしました。しかしながら、米中間における通商問題の長期化や、英国のEU離脱問題などが世界経済に与える影響が懸念され、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社といたしましては、慣例にとられない新たな売上創造、実践を目指してまいりました。

まず、新規宴会需要を取り込むため、訪問セールスに加えインターネット及びスマートフォンによる販促を強化し、新たな顧客層へのアプローチを行ってまいりました。

ダイニング部門においては、一部店舗を除き6月にグランドメニューの改定を行いました。商品の絞り込みを行い、お客様が選びやすい構成とし、また、店舗作業の効率化を進め、生産性の向上を図りました。

季節ごとのフェア等を実施し、お客様にとって魅力のあるプランを企画、提案し、各店舗において売上の強化を図ってまいりました。

また、各店舗ごとにインターネット即予約サイトへの掲載を強化し、自社WEB予約の構成比を高め、販売手数料等の低減を図りました。

なお、大阪天満橋OMM店の婚礼部門については、他社へ業務委託し、経営の効率化を図りました。

東京都台東区の「Brillia Tower上野池之端」30戸については、6月より賃貸用マンションとして順調に稼働しております。

以上の結果、当第2四半期の売上高は、前年同四半期比1.7%減の32億6,729万円、営業損失は1億104万円（前年同四半期は営業損失8,480万円）、経常損失は1億272万円（前年同四半期は経常損失8,059万円）、四半期純損失は1億1,020万円（前年同四半期は四半期純損失8,824万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債及び純資産の状況)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ4億349万円増加いたしました。

これは主に、賃貸用不動産の取得等により現金及び預金が3億4,782万円減少並びに固定資産への振替により、未収入金が9億8,787万円減少したことなどにより、流動資産が14億2,461万円の減少、固定資産が賃貸用不動産の取得並びに未収入金からの振替等により18億2,810万円増加したことなどによります。

負債は、前事業年度末に比べ5億4,810万円増加いたしました。

これは主に、借入金が増加及び流動負債その他の未払金が2,738万円増加したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ1億4,461万円減少いたしました。

これは主に、四半期純損失1億1,020万円の計上及び期末配当金の支払による支出などによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は6億1,912万円となり、前事業年度末と比較して3億4,782万円の減少となりました。

これは税引前四半期純損失1億455万円の計上、有形固定資産取得による支出及び、借入れによる収入並びに減価償却費の計上等によるものであります。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動の結果得られた資金は4,761万円となりました（前年同四半期は2億2,119万円の収入）。

これは主に税引前四半期純損失の計上及び、減価償却費の計上等によるものであります。

投資活動により使用した資金は10億5,820万円となりました（前年同四半期は3億425万円の支出）。

これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

財務活動により得られた資金は6億6,277万円となりました（前年同四半期は3億1,356万円の収入）。

これは主に借入れによる収入によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当初予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	966,941	619,120
売掛金	363,254	319,157
商品及び製品	7,612	6,295
原材料及び貯蔵品	66,402	66,975
前払費用	65,455	58,173
未収入金	987,873	—
その他	52,629	15,833
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	2,509,869	1,085,255
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,998,223	4,845,427
土地	3,907,654	4,989,353
その他(純額)	445,033	366,856
有形固定資産合計	8,350,911	10,201,638
無形固定資産	6,820	2,450
投資その他の資産		
投資有価証券	107,679	95,152
差入保証金	1,422,921	1,414,052
その他	209,211	212,356
貸倒引当金	△600	△600
投資その他の資産合計	1,739,212	1,720,962
固定資産合計	10,096,944	11,925,051
資産合計	12,606,814	13,010,306
負債の部		
流動負債		
買掛金	138,969	106,689
短期借入金	420,550	932,400
未払法人税等	86,800	40,940
賞与引当金	62,000	66,000
その他	402,831	349,617
流動負債合計	1,111,150	1,495,647
固定負債		
長期借入金	164,450	340,750
長期末払金	139,894	135,746
繰延税金負債	156,201	149,870
再評価に係る繰延税金負債	129,796	129,796
退職給付引当金	610,413	597,640
その他	11,202	21,765
固定負債合計	1,211,958	1,375,569
負債合計	2,323,109	2,871,217

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2019年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,572,092	2,572,092
資本剰余金	6,561,688	6,561,688
利益剰余金	2,555,659	2,419,769
自己株式	△9,944	△9,975
株主資本合計	11,679,495	11,543,573
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	22,712	14,019
土地再評価差額金	△1,418,503	△1,418,503
評価・換算差額等合計	△1,395,790	△1,404,484
純資産合計	10,283,704	10,139,089
負債純資産合計	12,606,814	13,010,306

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年3月1日 至2018年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)
売上高	3,322,914	3,267,299
売上原価	1,485,675	1,450,524
売上総利益	1,837,239	1,816,775
販売費及び一般管理費	1,922,047	1,917,823
営業損失(△)	△84,808	△101,048
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	2,311	2,285
未回収商品券受入益	1,041	608
保険配当金	1,717	1,485
還付加算金	1,925	—
その他	1,317	1,791
営業外収益合計	8,315	6,174
営業外費用		
支払利息	3,171	6,190
その他	926	1,661
営業外費用合計	4,097	7,851
経常損失(△)	△80,590	△102,725
特別損失		
固定資産除却損	858	1,828
特別損失合計	858	1,828
税引前四半期純損失(△)	△81,448	△104,554
法人税、住民税及び事業税	10,032	8,152
法人税等調整額	△3,236	△2,498
法人税等合計	6,795	5,653
四半期純損失(△)	△88,244	△110,208

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年3月1日 至2018年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△81,448	△104,554
減価償却費	205,338	205,409
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	4,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	11,296	△12,772
受取利息及び受取配当金	△2,314	△2,289
支払利息	3,171	6,190
固定資産除却損	7	1,828
売上債権の増減額(△は増加)	85,776	44,096
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,070	744
仕入債務の増減額(△は減少)	△47,055	△32,279
未払金の増減額(△は減少)	△10,450	27,138
預り保証金の増減額(△は減少)	△651	10,563
その他	82,927	△49,385
小計	239,525	98,689
利息及び配当金の受取額	2,314	2,289
利息の支払額	△3,225	△4,943
法人税等の支払額	△17,420	△48,426
営業活動によるキャッシュ・フロー	221,194	47,610
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の売却による収入	97,128	—
有形固定資産の取得による支出	△400,726	△1,064,640
差入保証金の差入による支出	△426	△635
差入保証金の回収による収入	9,555	9,504
その他	△9,784	△2,431
投資活動によるキャッシュ・フロー	△304,254	△1,058,203
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	350,000	500,000
長期借入れによる収入	100,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△110,900	△11,850
自己株式の取得による支出	△164	△31
配当金の支払額	△25,375	△25,345
財務活動によるキャッシュ・フロー	313,560	662,772
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	230,499	△347,820
現金及び現金同等物の期首残高	482,846	966,941
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 713,346	※1 619,120

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

当社は、料理・飲食物の加工調理提供を主要業務とする飲食店のほか付随的に外販・不動産賃貸等を営んでおりますが、飲食店としての事業がほとんどを占めており実質的に単一セグメントのため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。